


事業概要 【「デジタル地域通貨」導入事業】

実施地域	福井県	事業費	200,000千円
実施主体	福井県	人口	751,761人
事業概要	<p>用途の制限（使用店舗、使用期限など）が可能で、個人を特定した柔軟なポイントの付与などができる「デジタル地域通貨」を導入することで、給付金支給等における「行政事務の迅速化・費用削減」の推進に加え、「域内経済活性化」「県民の行動変容」「地域コミュニティ活性化」を促進する。</p>		
具体サービス	<p>以下の事業において活用予定。</p> <p>【給付金送金】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国の「出産・子育て応援ギフト」での活用 <p>【消費喚起】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内中小店舗支援として、地域商品券発行に活用 <p>【行動変容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 海岸漂着ごみ拾いイベント参加者へのポイント発行に活用 高齢者ウォーキングイベント参加のモチベーションアップのため、参加者へのポイント発行に活用 		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 出産・子育て応援ギフトにおける利用者数 ② 海ごみ拾いイベント参加人数 ③ 健康イベント参加人数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 出産子育て応援ギフト対象者の満足度 ② デジタル地域通貨アプリ利用者の満足度 ③ 健康管理アプリ利用者の満足度 	



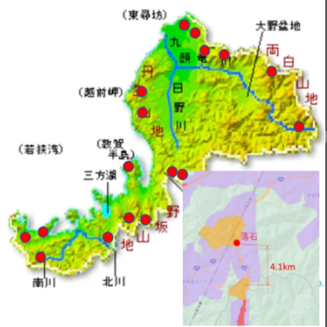



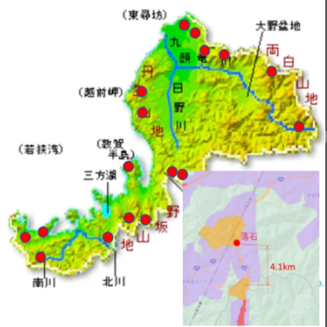



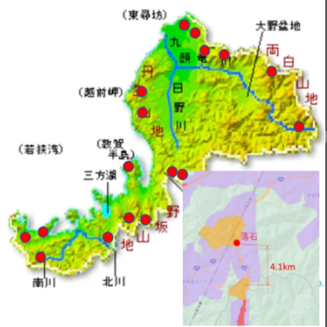

事業概要 【チャットアプリ活用による外部とのコミュニケーション円滑化】

実施地域	福井県	事業費	36,675千円
実施主体	福井県	人口	751,761人
事業概要	<p>メールなどの従来ツールに比べ、情報伝達の即時性が高く複数の関係者との共同作業を効率化することができるチャットアプリを活用し、外部人材との協業による政策立案・実行の円滑化による県民サービスの質・速度の両面における向上に加え、大雪や災害の対策時にも情報共有・連携ツールとしても活用することで、非常時における行政の効率化・意思決定の迅速化を図り、県民の安全確保につなげる。</p>		
具体サービス	<p>【チャットアプリの活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メールなどよりも即時性が高く、速やかに情報共有ができるチャットアプリを活用 ・ 事前承認を経て登録されたメンバーとのみ会話 <p>【利用シーンと参加が想定される外部の人材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 政策立案（計画策定の審議会委員、有識者） ・ 政策実行（受託事業者、有識者） ・ 災害対応（国、関係機関、県内市町） ・ 除雪対応（国、関係機関、除雪事業者、県内市町） ・ 市町との協働（特定の事業の市町担当者） 	<p>チャットアプリ 同時編集でスピーディーに作業完了</p>	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①外部との協働でのチャット活用事例数 ②外部との協業により立案された事業数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①外部の災害対応・除雪対応関係者の利用満足度 ②県内市町関係者の利用満足度 	

事業概要 【恐竜エリア拡大プロジェクト】

実施地域	福井県	事業費	53,542千円
実施主体	福井県	人口	751,761人
事業概要	<p>「恐竜エリア拡大プロジェクト」は、令和6年春の北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、「恐竜といえば福井」と感じられるエリアを整備するため、福井駅周辺に様々な展示物（恐竜コンテンツ）を配置し、来県者に「恐竜王国福井」をPRするとともに、賑わいの創出を図るため実施する。</p>		
具体サービス	<p>【デジタルサイネージ設置による駅周辺情報等の提供】</p> <p>タッチパネルディスプレイによるデジタルサイネージ「恐竜コンシェルジュ」に恐竜が登場し、JR福井駅周辺情報※を提供</p> <p>※恐竜ロボット等の恐竜をテーマとしたコンテンツの配置状況のほか、福井城址等の周辺の観光情報等を掲載</p> <p>＜設置のねらい＞</p> <p>北陸新幹線の福井・敦賀開業に向けた一大プロジェクトとして福井駅周辺に巨大恐竜ロボットなど数多くの恐竜コンテンツを整備し、来県者へのおもてなし体制を整える。このプロジェクトの成否は、いかに多くの方に恐竜コンテンツを見て・楽しんでいただいたかによるが、その核となるのが「恐竜コンシェルジュ」である。福井駅から出てすぐの分かりやすい位置に設置し、恐竜コンテンツのほか周辺観光地も紹介することにより、恐竜コンテンツの設置効果を高めていく。</p>	<p>※恐竜コンテンツの内訳 恐竜コンシェルジュ、恐竜ロボット（2体）、ARディスプレイ（4台）、3Dホログラムディスプレイ、ビル・路上機器等ラッピング装飾 ほか</p>	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①サイネージデータ（利用者数）</p> <p>②サイネージデータ（デジタルスタンプラリー参加数）</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①中心市街地回遊者の増（エリア内回遊者）</p> <p>②デジタルサイネージ利用者の満足度</p>	

事業概要 【ふくいの空から県民を守るドローン防災事業】

実施地域	福井県全域	事業費	198,468千円									
実施主体	福井県	人口	751,761人									
事業概要	<p>防水・目視外自動飛行機能を有した災害用ドローンを配備し、県境道路や県内全域の河川について、自動飛行ルートを実前登録することで、発災時に災害現場の早急な状況把握に努めるとともに、県民への情報発信や災害復旧の早期完了を図る。</p>											
具体サービス	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【災害用ドローンの被災箇所自動飛行システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害用ドローンを県内に8台配備 県境道路や行止まり道路、全河川について飛行ルートの事前登録を実施 災害時に自動飛行を行い、被災箇所を早期に把握 <p>【災害情報発信サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 危機対策防災課と連携し、災害用ドローンで撮影した被災情報を早期にSNSや電子メール、HPで県民に提供 </div> <div style="width: 50%;"> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">(1) 災害用ドローン等の機器配備</th> <th style="width: 33%;">(2) 自動飛行航路の事前登録</th> <th style="width: 33%;">(3) 災害時の早期状況把握</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">  × 8 台 タスクフォースの結成  1 台あたり 職員 1 名 委託 2 名 </td> <td style="text-align: center;">  </td> <td style="text-align: center;">  </td> </tr> <tr> <td> 県庁および各土木事務所に 8 台 配備 ・モバイル通信を活用した自動運転 (4 km) 機能 ・防水機能 </td> <td> 県内全域を対象に航路を取得 ・ 432 箇所 を登録 (約 4 km/箇所) ・ 県境や行止まりの道路 約 150 km (38 箇所) ・ 河川、砂防河川 約 1575 km (394 箇所) ・ データは各ドローンで共有 ・ 同時に取得する写真は写真機に使用 </td> <td> タスクフォースが現地に急行 ・ 調査時間 8 h → 0.6 h に短縮 ・ 状況写真はクラウド等を活用し水防本部に提供 県民へ早期に被害情報を提供 ・ 40箇所/年の災害を想定 </td> </tr> </tbody> </table> </div> </div>			(1) 災害用ドローン等の機器配備	(2) 自動飛行航路の事前登録	(3) 災害時の早期状況把握	 × 8 台 タスクフォースの結成  1 台あたり 職員 1 名 委託 2 名			県庁および各土木事務所に 8 台 配備 ・モバイル通信を活用した自動運転 (4 km) 機能 ・防水機能	県内全域を対象に航路を取得 ・ 432 箇所 を登録 (約 4 km/箇所) ・ 県境や行止まりの道路 約 150 km (38 箇所) ・ 河川、砂防河川 約 1575 km (394 箇所) ・ データは各ドローンで共有 ・ 同時に取得する写真は写真機に使用	タスクフォースが現地に急行 ・ 調査時間 8 h → 0.6 h に短縮 ・ 状況写真はクラウド等を活用し水防本部に提供 県民へ早期に被害情報を提供 ・ 40箇所/年の災害を想定
(1) 災害用ドローン等の機器配備	(2) 自動飛行航路の事前登録	(3) 災害時の早期状況把握										
 × 8 台 タスクフォースの結成  1 台あたり 職員 1 名 委託 2 名												
県庁および各土木事務所に 8 台 配備 ・モバイル通信を活用した自動運転 (4 km) 機能 ・防水機能	県内全域を対象に航路を取得 ・ 432 箇所 を登録 (約 4 km/箇所) ・ 県境や行止まりの道路 約 150 km (38 箇所) ・ 河川、砂防河川 約 1575 km (394 箇所) ・ データは各ドローンで共有 ・ 同時に取得する写真は写真機に使用	タスクフォースが現地に急行 ・ 調査時間 8 h → 0.6 h に短縮 ・ 状況写真はクラウド等を活用し水防本部に提供 県民へ早期に被害情報を提供 ・ 40箇所/年の災害を想定										
主なKPI	<p>【アウトプット指標 (活動指標)】</p> <p>① 災害用ドローンの稼働回数 ② 災害情報等の発信回数</p> <p>【アウトカム指標 (成果指標)】</p> <p>① 車両通行不能箇所の状況把握に要する日数の縮減 ② 災害情報発信サービスの充実度 ③ 県内における無人航空機操縦士の増加</p>											

事業概要 【福井県警アプリの開発と運用】

実施地域	福井県	事業費	16,555千円
実施主体	福井県警察本部	人口	751,761人
事業概要	<p>既存の情報発信ツールを統合したアプリを導入し、防犯・交通安全等に関する効果的な情報発信による県民の防犯力の向上、防犯ブザー機能等による直接的な犯罪抑止、パトロール機能等によるボランティア活動の拡大・活性化を図ることにより、地域と連携した警察活動を強化する。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>【県警アプリ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プッシュ通知、エリア通知等のお知らせ機能 ・ 防犯ブザー、痴漢撃退等の防犯便利機能 ・ 位置情報を活用したパトロール機能 ・ ボランティア活動によるポイント機能など <p>【メッセージ配信サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メール、SNS等連携による一斉配信 ・ 自動音声架電による配信 	<p>イメージ</p> <p>主な機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 情報発信 お知らせ機能（プッシュ通知、エリア通知） 不審者、特殊詐欺、犯罪、交通事故 安全安心マップ（地図機能） 発生状況・対策方法・地図 ● パトロール機能、ポイント機能（県独自機能） パトロール機能 防犯講習会参加(P) ポイント交換機能 商品券51 100円 入館料200円(200P) ● SNS等連携 Twitter、YouTube連携 ホームページ連携 ● 防犯便利機能 防犯ブザー・痴漢撃退機能 現在地通知機能 	
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①アプリのダウンロード累計数 ②パトロール機能の使用実績 ③情報発信のアクセス数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①アプリ利用者の満足度 ② ③ 	

事業概要 【認知機能検査用タブレット整備事業】

実施地域	福井県	事業費	9,675千円
実施主体	福井県	人口	751,761人
事業概要	75歳以上の高齢運転者が運転免許の更新時等に受検しなければならない認知機能検査の実施に、タブレットを導入し、所要時間の短縮や感染症リスクの低減を図るもの。		
具体サービス	<p>【タブレット機器を用いた認知機能検査のサービス】</p> <p>認知機能検査に専用タブレットを導入することにより、</p> <p>①受検者全員を集合させての一斉実施から、個人別の実施の実現</p> <p>②タブレットによるリアルタイムな自動採点が行われることによる所要時間短縮及び採点業務の効率化</p> <p>③タブレットが個別に進行することにより、集団進行が不要となることによる、検査室における密の回避と、進行业務の省力化が図られるもの。</p>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①タブレットの利用者数</p> <p>②</p> <p>③</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①受検者の利便性の向上(検査に要する所要時間)</p> <p>②タブレットの利用満足度（受検者）</p> <p>③</p>	

事業概要 【福井市ホームページ再構築事業】

実施地域	福井県福井市	事業費	20,000千円
実施主体	福井県福井市	人口	257,510人 (令和5年2月1日現在)
事業概要	自治体のホームページは、市政情報を24時間リアルタイムで発信でき、SNSなど他の広報媒体との連携をとりやすいなどの特徴がある。本市のホームページを再構築するにあたっては、そういった特徴やデジタル化への対応などを踏まえ、デザインや機能の見直しのほか、LINEとの連携やユーザー属性に応じた情報発信、AIチャットボットとの連携などを行い、市民にとって「見やすい」「分かりやすい」「たどり着きやすい」ホームページの実現を目指す。		
具体サービス	<p>【デザインや機能の見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> • ロゴや画像を活用した見やすい表示 • 移住定住サイトのデザイン一新 • 手続きナビゲーション機能の導入 <p>【LINEとの連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> • ホームページのCMSとLINEの連携と、ユーザー属性に応じたセグメント配信 <p>【AIチャットボットとの連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> • ホームページとAIチャットボットの連携 		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ホームページのアクセス件数 ②移住定住サイトのアクセス件数 ③市公式LINEの登録件数 ④市公式LINEのプッシュ通知件数 ⑤AIチャットボットの正答率 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ホームページにおける必要な情報の見つけやすさ ②本市へのUIターン者数 	

事業概要 【コンビニ交付サービス導入事業】

実施地域	全国	事業費	24,507千円
実施主体	福井県小浜市	人口	28,364人
事業概要	<p>マイナンバーカードを活用して、全国のコンビニエンスストア等で、住民票の写しや戸籍証明書、所得・課税証明書を取得することを可能とする。市外に居住し証明書を必要とする方や、市内においても、市役所に訪れることなく、早朝から深夜までいつでも必要とする証明書を取得することができる。</p>		
具体サービス	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">いつでも</p>  <p>毎日6:30から23:00まで、利用できる。 昼休みや市区町村窓口の閉庁後（夜間、休日）でも、いつでも必要なときに利用できる。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">簡単に</p>  <p>全国のコンビニエンスストア等店舗でも証明書が取得出来ます。 証明書が急に必要になった時も、出先の店舗に設置されているキオスク端末から、簡単操作ですぐに取得出来ます。</p> </div> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p style="text-align: center;">どこでも</p>  <p>全国どこでも最寄りのコンビニエンスストア等店舗内に設置されているキオスク端末（マルチコピー機）より証明書が取得できる。</p> </div> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">https://www.lg-waps.go.jp/01-00.html より抜粋</p>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①マイナンバーカードの普及率 ②コンビニ等での証明書等交付率 ③</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①コンビニ交付サービス利用に関する満足度 ②休日窓口の開設日数を削減 ③</p>	

事業概要 【市民生活の安心・安全のための情報収集・情報発信事業】

実施地域	福井県大野市	事業費	16,889千円
実施主体	福井県大野市	人口	31,012人
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 特別豪雪地帯に指定されている大野市において、冬季の除雪による安全安心な道路環境を提供し続けるため、積雪センサーと道路監視カメラを設置する。 ● 大野市はハザードマップにおいて市街地区域の約6割が水害リスクを抱えており、河川溢水時の迅速な初期対応のため河川監視カメラを設置する。 		
具体サービス	<p>【積雪センサーと道路監視カメラの設置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市道のうち積雪量が多く、除雪車の出動判断のための現地確認に時間を要する3箇所積雪センサーと道路監視カメラを設置する。 ・ 福井県と連携し、県が運営する県内の国道、県道の積雪状況を閲覧することができる「みち情報ネットふくい」に情報を掲載する。 <p>【河川監視カメラの設置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大雨の際に河川が溢水し周辺の住宅が浸水しやすい2箇所積雪センサーと道路監視カメラを設置する。 ・ カメラの映像は市ホームページで道路カメラとともに配信し、大雨による災害の危険性が高まる際の初動対応の誤りを防ぎ、市民が防災行動をとるための判断を行う参考としてもらう。 		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①情報掲載Webサイトの閲覧件数 ② ③ 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①水害による人的被害の件数 ②スキー場からの除雪要望件数 ③ 	

事業概要 【デジタルを活用した公共施設の予約事業】

実施地域	福井県大野市	事業費	18,782千円
実施主体	福井県大野市	人口	31,012人
事業概要	<p>公共施設の貸館を利用する際は当該施設へ赴き、申請書の記入を行う必要があるため、利用者にとって大きな負担となっている状況である。また、夜間、休日に利用する際は鍵の管理を委託しているお宅まで鍵を借りに行き、鍵の管理者も夜間、休日でも対応しなければならないため負担が大きくなっている。予約システムと鍵のシステムを導入することで利用者の利便性を向上させるとともに、鍵の管理者の負担を軽減する。</p>		
具体サービス	<p>【施設予約システムの導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> 予約状況の確認、申請、使用料の決済までをシステム上で完結 予約希望が重なる場合に抽選機能を利用 最新の予約状況を施設管理に関わる関係者間で共有 <p>【鍵管理システムの導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設予約システムと連動 施設予約システムで予約完了後に暗証番号を発行 貸館施設の玄関扉に電子鍵を設置し、暗証番号で開錠 	<p>利用申請・料金支払い手続き</p> <p>利用者 → 予約システム → 利用者</p> <p>・申請内容を入力 ・使用料の支払い (納付書払いも可)</p> <p>予約状況確認、調定書作成、システム未利用者対応</p> <p>暗証番号発行</p> <p>スポーツ推進課</p> <p>効果</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネット上で手続きが完了する 学校や金融機関へ行く手間を削減できる 施設管理課は許可書を郵送する手間を削減できる <p>利用手続き</p> <p>利用者 → 体育館</p> <p>暗証番号で開錠</p> <p>鍵イメージ</p> <p>・利用者は鍵のやり取りが不要になる ・鍵管理者への委託が不要になる</p>	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 施設予約システムの利用可能施設数 鍵管理システムの利用可能施設数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 施設予約システムの利用満足度 施設予約システムの利用団体割合 鍵管理システムの利用満足度 	

事業概要 【デジタルの活用による子育て応援事業】

実施地域	福井県大野市	事業費	5,884千円
実施主体	福井県大野市	人口	31,012人
事業概要	<p>市内の子育て世帯の多くは共働き世帯であり、同居の家族や市内に居住している家族の助けを得ながら子育てをしている。市外へ通勤する保護者も多く、保育所等や学校、学童保育への連絡は忙しい中、電話で行わなければならない、連絡漏れが起こることがある。保護者と関係者がアプリを活用して連絡できる仕組みを導入することで、保護者の利便性向上と、関係者間の情報共有による事故リスク低減を図り、安心して子育てができる環境を構築する。</p>		
具体サービス	<p>【保育業務支援システムの導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> • アプリを通じた保護者からの連絡 • 連絡帳のやりとりのデジタル化、家族内での共有 • アプリを通じた保護者への連絡 • 保護者へのお便りのデジタル化 • 職員が作成する各種帳票のデジタル化 <p>【学童保育連絡システムの導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> • アプリを通じた保護者からの連絡、毎月の申込 • 学校、学童保育間での情報共有 • アプリを通じた保護者への連絡 	<p style="text-align: center;">子どもと向き合う時間の創出</p> <p style="text-align: center;">保護者 負担軽減 保育士 管理員</p>	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者と保育園間の連絡用アプリのダウンロード数 ②保護者と学童保育施設間の連絡用アプリのダウンロード数 ③ 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保育業務支援システムの満足度（保護者） ②保育業務支援システムの満足度（保育士） ③学童保育連絡システムの満足度（保護者） 	

事業概要 【デジタルの活用による教育環境充実事業】

実施地域	福井県大野市	事業費	9,039千円
実施主体	福井県大野市	人口	31,012人
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 福井県が選定する校務支援システムを市内小中学校に導入することで、学校と保護者との適時適切な情報の共有を行うほか、小学校・中学校間での情報連携や、児童生徒へのきめ細かな支援、指導につなげる。 中学校の再編に伴い、市内小中学校合わせて13台ものスクールバスが運行することから、保護者、教職員がバスの現在地を把握できるよう、バス運行管理システムを導入する。スクールバス利用や高校生が通学利用する市営バス路線にも合わせて導入する。 		
具体サービス	<p>【校務支援システムの導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> システムを利用した学校から保護者への連絡、保護者から学校への連絡 教職員の業務の効率化による児童、生徒へ向き合う時間の確保、きめ細かな支援、指導 <p>【貸し出し用モバイルルーターの整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ等による学級閉鎖時のリモート授業実施の際、自宅にWi-Fi環境のない家庭への貸し出し用モバイルルーターを整備 <p>【スクールバス等運行管理システムの導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者、教職員がスクールバス運行状況を確認 高校生、市民が市営バス運行状況を確認 		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者・学校連絡用アプリのダウンロード率 ②貸し出し用ルーターの貸し出し日数（延べ） ③バス運行管理システムアプリのダウンロード累計数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者・学校連絡用アプリの保護者の満足度 ②リモート授業を受けられなかった児童生徒数（延べ） ③バス運行管理システムの満足度 	

事業概要 【電子申請サービス事業】

実施地域	福井県鯖江市	事業費	1,030千円
実施主体	福井県鯖江市	人口	68,952人(R4.12.1現在)
事業概要	<p>電子申請システムである「LoGoフォーム」の拡張機能を利用し、申請から通知の交付までシステム内で完結できるように申請者の利便性を高めます。また、電子申請に添付したファイルが無害化し、素早く安全に庁内ネットワークに取り込めるようにし、業務の効率化を図ります。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>【電子申請システム「LoGoフォーム」】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「デジタル窓口」機能 システム内の申請管理機能およびメール通知機能により補正依頼をできるようにし、システム内で修正部分を入力して再申請ができるようにします。また、システム内で通知文書をファイル添付し交付できるようにします。 「ファイル無害化」機能 インターネット側から申請する際に添付したファイルが無害化し、LGWAN側に素早く安全に庁内ネットワークに取り込めるようにします。 		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規電子申請の種類数の追加数 電子申請の利用件数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 閉庁時間の申請割合 次回も電子申請を継続利用したい人の割合 	



事業概要 【開放学校リモートキー化事業】

実施地域	福井県鯖江市内	事業費	8,000千円
実施主体	福井県鯖江市	人口	68,952人(R4.12.1現在)
事業概要	<p>市内小中学校体育館等の施錠・開錠をリモート化することにより、開放学校利用者の鍵の受け渡しの手間や紛失などのトラブルの解消につなげ、利便性を向上させることにより、なお一層の運動・スポーツ推進を図ります。また、災害時の避難所として使用されることから、迅速な避難所開設を行い市民の安全・安心の確保に努めます。</p>		
具体サービス	<p>【スマートキーサービス】 株式会社構造計画研究所社の鍵管理サービス「RemoteLOCK」は、利用施設のドア等にスマートロックを設置し、Wi-Fiを通してインターネットに接続し、クラウド上で利用者の入室を管理できるシステムです。 利用者が利用施設等の開錠を行うためのパスワードを遠隔で発行し、利用者はキーレスで施設を利用できます。</p>	 <p>←スマートロック取付イメージ</p>	 <p>スマートロック取付設置困難な場所は、壁にキーボックスを設置する→</p>
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① サービスの利用回数 ② 避難所設置数（避難訓練等における利用回数） 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 開放学校施設リモートロックサービスの満足度 ② 開放学校施設利用者数の増加 ③ 総合型地域スポーツクラブの加入者数増加 	

事業概要 【窓口等キャッシュレス決済推進事業】

実施地域	福井県あわら市	事業費	1,955千円
実施主体	福井県あわら市	人口	26,901人
事業概要	<p>キャッシュレス決済が浸透するなか、行政窓口及び市営駐車場における支払いについて、キャッシュレス決済を導入することで、住民にとっての利便性向上や現金受け渡しの非接触化だけでなく、自治体にとっても現金取り扱いによる時間や手間の削減による業務効率化が期待される。また、市営駐車場については、令和6年春に開業予定の北陸新幹線芦原温泉駅開業に向けて、利用者の利便性の向上が期待される。</p>		
具体サービス	<p>【窓口キャッシュレス決済】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政窓口に係る手数料の支払いについて、各種QRコード決済による支払いができるようにするもの。 <p>【市営駐車キャッシュレス決済】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市営駐車場及び交通広場について、クレジットカード、電子マネー、QRコード決済による支払いができるようにするもの。 	<p>The diagram illustrates the payment flow in a cashless environment. At the top is the '利用者' (User). Below them are '市役所' (City Office) on the left and '決裁代行業者等' (Payment Processor etc.) on the right. Arrows indicate the following interactions: <ul style="list-style-type: none"> From User to City Office: 'キャッシュレス決済による支払い' (Payment via cashless payment). From User to Payment Processor: '支払い' (Payment). From Payment Processor to User: '請求' (Request/Bill). From Payment Processor to City Office: '手数料の納付' (Payment of fee). From City Office to Payment Processor: '入金' (Deposit). </p>	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①キャッシュレス決済の利用率(窓口) ②キャッシュレス決済の利用率(市営駐車場等) ③ 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①来庁者の窓口滞在時間(窓口) ②利用者の支払いに係る時間(市営駐車場等) ③キャッシュレス決済導入による市民満足度調査 	

事業概要 【公式LINE導入によるスマホ市役所】

実施地域	福井県あわら市	事業費	517千円
実施主体	福井県あわら市	人口	26,901人
事業概要	<p>市民と行政の接触ポイントとして、窓口、電話、ホームページ、広報、SNSなどが挙げられるが、それらを「公式LINE」に集約することで、幅広い世代へ必要な情報を届けることができる。さらに、年齢や家族構成などセグメントごとの配信が可能となることで伝えたい情報を伝えたい人に伝えることが可能となる。また、市民にとっては、各種問い合わせや申請などの窓口が集約されることで、開庁時間に関わらず申請等の手続きが可能となる。</p>		
具体サービス	<p>【公式LINE導入によるスマホ市役所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あわら市公式LINEを導入することで、幅広い世代に必要な情報を伝えることができる。また、セグメント配信が可能となることで、伝えたい情報を伝えたい人に伝えることが可能となる。 <p>そのほか、市民アンケートやすでに実装している電子申請など各種手続きについても、市民がアクセスする際の入り口を公式LINEに集約することで、利便性向上につながる。</p>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①公式LINE登録者(友達)の数 ② ③ 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①市民アンケートにおける「情報発信」に関する満足度 ② ③ 	

事業概要 【災害情報配信一元化システム】

実施地域	福井県あわら市	事業費	1,063千円
実施主体	福井県あわら市	人口	26,901人
事業概要	<p>市民への災害情報伝達手段として、防災行政無線、防災行政無線災害情報テレホンサービス、市ホームページ、市防災メール、Yahoo!防災速報アプリ、Lアラート、SNSの7つがあるが、有事の際には、それぞれのシステムに情報を入力していた。一元化システムを導入することで、入力作業が省力化され、かつ、市民に必要な情報が迅速に提供できるようになる。</p>		
具体サービス	<p>【災害情報配信一元化システム】 災害情報一元化システムに必要な情報を入力することで、市ホームページ、あわら市防災メール、防災行政無線災害情報テレホンサービス、Yahoo!防災速報アプリ、SNSへの連携が可能となる。 入力作業が一回で済むことから、職員の負担が減るだけでなく、従来よりも迅速に市民への情報提供が可能となる。</p>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】 ①行政からPUSH通知を受けられる人数 ② ③</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】 ①市民アンケートにおける「災害に強いまちづくり」に関する市民満足度 ② ③</p>	

事業概要 【ICT活用による都市排水路浸水対策事業】

実施地域	福井県あわら市	事業費	2,083千円
実施主体	福井県あわら市	人口	26,901人
事業概要	<p>近年、大型の台風やゲリラ豪雨と呼ばれる集中豪雨など、異常気象がもたらす災害の被害が増加傾向にあり、本市の温泉街を通る都市排水路においても浸水対策が急務となっている。都市排水路にカメラ及び水位計を設置することで、スマホからの状況確認、異常発生時には職員へのメール通知など、緊急時の情報をいち早く察知できることが可能となり、市民への避難指示や災害予防対策が迅速に行うことが可能となる。</p>		
具体サービス	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>【ICT活用による都市排水路浸水対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温泉街を通る都市排水路の2カ所に監視カメラ及び水位計を設置することで、スマホからの状況確認及び異常発生時における職員へのメール通知などが可能となるサービス。 ・従来の目視巡回点検に比べ、複数個所の状況をスマホ画面から同時に確認できることから、市民への迅速な避難指示や災害予防対策が可能となる。 ・水位や雨量情報等のデータ取得、データ蓄積が進むことで、災害予防対策に関する判断指標等が確立するとともに、データを活用した行政運営が可能となる。 </div> <div style="flex: 2;"> </div> </div>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①水位確認・記録・共有作業の省力化 ②判断指標確立のためのデータ取得件数 ③ 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①市民アンケートにおける「災害に強いまちづくり」に関する市民満足度 ② ③ 	

事業概要 越前市発オリジナルVtuberによる情報発信力強化事業

実施地域	越前市および全国、海外	事業費	100,000千円
実施主体	越前市、 紫式部プロジェクト推進協議会、Activ8株式会社（東京都渋谷区）	人口	81,006人
事業概要	<p>2024年、本市は、北陸新幹線県内開業に伴い越前たけふ駅が新設され、さらにNHK大河ドラマでは本市ゆかりの紫式部が主人公の「光る君へ」が放送される。このまたとない機会を活かして、全国や海外からの認知向上と情報発信力の強化を行い、継続的な関係人口の創出に繋げていきたい。そこで、社会的注目度も高く、本市ではすでに産官学が連携し、取り組んでいるメタバースをテーマに事業を企画。官学連携により学生と制作したキャラクターをVtuberとして活用し、SNSのフォロワーなどとコミュニケーションを取ながら市のPR活動を行う。さらに他のVtuber等も出演する音楽イベントを開催することで、情報発信力のあるインフルエンサーとして確立し、継続的な情報発信により持続的な関係人口の創出を図る。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>【Vtuber開発育成事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2022年に本市が学生と制作した紫式部のオリジナルキャラクターを3Dモデル化 Vtuberとして活動する人材選定のオーディション開催、動画メディア・SNSでのコンテンツ配信、他人気Vtuberとのタイアップ、マスメディア出演等の活動 キャラクターの3Dモデルの使用に関する著作権をフリーにし、ファンやクリエイターが、キャラクターを使用し自由に創作できる仕組みを構築 <p>【メタバースイベント事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 有料のイベントを市内・オンライン同時開催 本市のオリジナルVtuberの他、活動を通して繋がった他人気Vtuberやタレントが出演 チケットのほか、限定商品の販売、企業協賛により黒字化する事業として実施 	   <p>▲紫式部オリジナル2Dキャラクター</p> <p>▲ドラマ制作決定 NHKホームページより</p> <p>「越前市のインフルエンサー」を作り出すことで、イメージ醸成を図ると同時に、広告費を掛けない情報発信力を獲得。</p>   <p>▲(C)Kizuna AI</p> <p>越前市内屋外施設・動画ストリーミングサービス上で同時開催・配信、越前市の認知度向上と経済振興に寄与</p>	
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> Vtuberの発信コンテンツ数 Vtuberの総フォロワー・チャンネル登録者数 イベントの来場数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> メディア露出による広告換算 市外のYoutubeチャンネル登録者数 観光客入込数 	


事業概要 【窓口申請書作成支援システム事業】

実施地域	福井県永平寺町	事業費	3,524千円 (200,000千円以内)										
実施主体	福井県永平寺町	人口	18,059人										
事業概要	<p>窓口業務において、複数の申請書類への記載等による負担が大きく、申請から発行までに手間と時間がかかっている。</p> <p>そこで、マイナンバーカードを活用することで記載の手間や待ち時間を削減し、利便性向上を図る。</p>												
<p>具体サービス</p>	<p>【窓口申請書作成支援システム】</p> <p>窓口業務において、マイナンバーカードに格納されている4情報（氏名・住所・生年月日・性別）を活用して申請書に自動印字することで、申請書類への記載等の負担軽減を図る</p>	<p>受付窓口設置型（職員利用）</p> <p>使い方：受付窓口申請書作成支援システムを設置する。受付担当が操作し、該当の申請書出力する。</p> <div data-bbox="1232 845 2016 1228"> <p>【申請書の種類】</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民異動届 住民票の写し等交付請求書 戸籍証明書等請求書 課税（非課税）証明書 印鑑登録申請書 印鑑登録証明請求書 個人番号カード記載事項変更届 など <table border="1" data-bbox="1232 1101 2016 1228"> <tr> <td></td> <td>職員</td> <td>職員</td> <td>住民</td> <td>職員</td> </tr> <tr> <td>利用フロー</td> <td>申請内容の確認</td> <td>システム操作</td> <td>申請書補記</td> <td>証明書等の発行</td> </tr> </table> </div>			職員	職員	住民	職員	利用フロー	申請内容の確認	システム操作	申請書補記	証明書等の発行
	職員	職員	住民	職員									
利用フロー	申請内容の確認	システム操作	申請書補記	証明書等の発行									
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①申請書作成支援システム利用件数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①支援システムの満足度</p> <p>②窓口手続きに係る削減時間</p>											

事業概要 【積雪モニタリングシステム事業】

実施地域	福井県永平寺町	事業費	4,565千円 (200,000千円以内)
実施主体	福井県永平寺町	人口	18,059人
事業概要	<p>当町は冬季期間において降雪する地域であり、除雪作業は地域住民に無くてはならないサービスである。昨今の気象状況の変化に伴い、除雪作業の正確性及び時間短縮が求められている。このことから、積雪深計測センサーによる道路積雪状況確認に伴い、住民の通勤・通学に影響を及ぼさないよう除雪作業の早期終了を行うことで住民サービスの向上を図る。</p>		
具体サービス	<p>【積雪深自動モニタリングシステム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積雪深計測センサーによる道路積雪状況確認に伴い、除雪パトロール時間及び除雪作業時間の短縮を行い、住民サービスの向上を図る 積雪深をデジタル化することで除雪出動時の適正化を行い、公平な住民サービスを図る 		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①積雪深計測センサーによる出動回数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①除雪作業の早期終了割合</p>	

事業概要 【情報発信ツール導入事業】

実施地域	福井県若狭町全域	事業費	6,732千円
実施主体	福井県若狭町	人口	13,860人(R4.12.1住基)
事業概要	LINE公式アカウントの拡張機能を活用し、住民のライフスタイル等に応じた適時適者な情報発信を行うとともに、各行政施策と連動したデジタル事業を展開することにより、新しい行政サービスの創造および既存サービスを向上し、住民の暮らしの利便性を高める。		
具体サービス	<p>LINE公式アカウントを開設し、拡張アプリを活用したサービスを展開する。</p> <p>【行政サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者選択によるセグメント情報発信 防災情報発信 オンライン申請, 公共施設予約 暮らしFAQ(チャットボット) <p>【住民サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会連絡機能 デジタルポイント等発行・利用 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民アンケート データ分析 他のアプリとの連携 	<p>☆適時、適者への情報発信</p>  <p>☆いつでも、どこでも手続き ☆気軽にイベント参加</p> <p>暮らしの利便性向上 (若者が暮らしやすい環境)</p>	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①LINE公式アカウント登録数 ②利用自治会数 ③チャットボット項目数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①サービス利用満足度 ②若者の「住みやすさ」意識 	